

**2023年10月29日(44週目)主日礼拝**

**「完全福音回復と完全宣教回復する教会」(エペソ 3:1-7)**

・宗教改革の主日である。マルティン・ルターの宗教改革をした時代は、暗黒の時代であった。ヨーロッパは野蛮人であった。しかし、福音を受け入れて力ある国に変わった。ヨーロッパの人が福音により祝福をされた。しかし、ヨーロッパの人が、福音を捨ててしまったことにより、ペストや飢饉等の災いが起こり、多くの人が死んだ。そのような時に、マルティン・ルターが聖書を通して福音を分かる。福音を回復することが、宗教改革の意味である。

**1.完全福音回復**

- ▲完全な福音を回復することが出来るように。
- 1)創 3:15(わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく。)  
 ・悪魔から全ての問題が始まるようになった。  
 ・キリストは、人間を滅ぼすサタンを打ち砕かれた。
- 2)詩 2:2(地の王たちは立ち構え、治める者たちは相ともに集まり、主と、主に油をそそがれた者と共に逆らう)  
 (1)油=キリスト(王)  
 ・キリストは、油を注がれた者という意味である。  
 (2)Iサム 26:11(私が、主に油そそがれた方に手を下すなど、主の前に絶対にできないことだ。さあ、今は、あの枕もとにある槍と水差しとを取って行くことにしよう。)  
 ・サウル王は、ダビデに嫉妬をして殺そうとした。  
 ・しかし、ダビデはサウル王に手出しをしなかった一油を注がれた王に手を出せないと分かっていた。  
 (3)IIサム 1:14-16(ダビデは言った。「主に油そそがれた方に、手を下して殺すのを恐れなかったとは、どうしたことか。」ダビデは若者のひとりを呼んで言った。「近寄って、これを打て。」そこで彼を打ち殺した。そのとき、ダビデは彼に言った。「おまえの血は、おまえの頭にふりかかれ。おまえ自身の口で、『私は主に油そそがれた方を殺した。』と言って証言したからである。」)  
 ・サウル王が、アマレク人によって殺された。  
 ・アマレク人は、サウル王を殺して褒められると思ったが、逆に殺されてしまった。  
 ・主に油を注がれた者をたてた主の主権を認める。
- 3)マタイ 1:21(マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。)  
 ・イエス・キリストは、ご自分の民をその罪から救い出すお方である。  
 ・真の王として、サタンを打ち砕き、私達を罪から救い出して下さった。
- 4)マタ 27:37(イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王イエスである」と書いた罪状書きを掲げた。)  
 ・イエス様は、王であるが故に殺された。  
 ・しかし、イエス様が王であるからこそ私達をサタンから救い出すことが出来た。
- 5)王—キリストは、悪魔・罪・死・怒り・律法から解放をして下さった。  
 ・イエス・キリストが真の王である。  
 ・真の王として、自分の民を守り完全に救い出す。  
 ・教会の王がキリストでなく、法皇が王になった時から問題・災いが続く。  
 ・真の王のキリストを強調しない時に神学が間違った方向に行く。

**2.完全宣教回復**

- ▲完全福音が分かると完全宣教が出来る
- 1)牧師—エペソ 3:1(こういうわけで、あなたがた異邦人のためにキリスト・イエスの囚人となった私パウロが言います。)  
 ・牧師が正しい福音を語るように。  
 ・福音と宣教運動をしていく。  
 ○使徒 9:15(「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子孫の前に運ぶ、わたしの選びの器です。」)  
 ・完全な福音を分かると変わる。  
 ・私達の問題をキリストが解決した。
- 2)重職者—1コリ 4:1-2(こういうわけで、私達を、キリストのしもべ、また神の奥義の管理者だと考えなさい。この場合、管理者には、忠実であることが要求されます。)  
 ・重職者は教会に忠誠するように。  
 ・プリスキラ・アクラは教会に命をかけるようになった(ローマ 16:3-4)  
 ・牧師、重職者、聖徒が共にワンネスをするように。
- 3)レムナント(summit)  
 ・サミットレムナントが起こされる。  
 ・金土日時代にレムナントを生かす。  
 ・日本キリスト教国家、世界福音化の答えが起こされるようになる。

**3.完全恵み一祈り**

- ▲祈りとはイエス・キリストに頼る事。  
 ○主が私の中におられることを認める  
 ○エペ 3:7(私は、神の力の働きにより、自分に与えられた神の恵みの賜物によって、この福音に仕える者とされました)  
 ⇒主が成されることを認めるのが祈り
- 1)7つのやぐら(聖霊内住)  
 ・三位一体の神様が共におられることを認める。  
 ・キリストは真の王  
 ・王が共にいるので何も心配をする必要はない。
- 2)7つの旅程(聖霊の導き)  
 ・主の導きを受ける  
 ・立派な重職者になる
- 3)3つの道しるべ(力)  
 ・主の力(5つの力)を持ってするように  
 ・レムナントが成功する目的は教会の為、宣教の為。  
 (マタイ 6:33)

## 現場地教会(2023年10月29日～2023年11月4日)

### 【賛美】「イエスわが王よ」

- 1) イエスわが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ  
私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ  
2) イエスわが王よ ここに來られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ  
われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス來られ 賛美を受けたまえ

### 【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより來たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

### 【メッセージ】 「完全福音回復と完全宣教回復する教会」(エペソ 3:1-7)

### 【讚美】 313 行く道はひとすじ

### 【祈り】

#### ①教会の祈りの課題

- ※御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。  
②現場地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。  
③現場地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

### 【フォーラム・祈り】

### 【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄えとは限りなくなんじのものなればなり。アーメン

絶対やぐらを築く祈り	<b>1)キリスト</b> 【吐いて】 悪霊の力がイエス・キリストの御名で打ち砕かれよ 【吸って】 イエス・キリスト 【吐いて】 サタンから解放して下さい 【吸って】 イエス・キリスト 【吐いて】 罪と呪いが終わった 【吸って】 イエス・キリスト 【吐いて】 永遠の命を下さった 【吸って】 イエス・キリスト 【吐いて】 全ての問題を解決された 【吸って】 イエス・キリスト 【吐いて】 主が共におられる	
	<b>2)聖霊</b> 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 聖霊が共におられます 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 聖霊様が導いて下さい 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 祈りに答えられる事を感謝します 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 天国の背景を与えて下さいました 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 天軍天使が動員されますように 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 暗闇の力が打ち砕かれよ 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 伝道者の生活を送れますように	
	<b>3)伝道</b> 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 日本キリスト教国家となるよう 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 世界福音化が成就されますように	
	<b>4)5つの力</b> 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 霊力を下さい 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 知力を下さい 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 体力を下さい 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 人力を下さい 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 経済力を下さい	
	<b>5)神の国の為の祈り</b> 【吸って】 聖霊充滿を下さい 【吐いて】 暗闇が砕かれ神の国が臨むよう	
	<b>お知らせ</b> 1、11月19日まで重職者メッセージ 2、東北伝道キャンプ 11月1日～3日 3、東北 創立記念礼拝 11月3日 4、賛美伝道学校 11月13日～15日 5、大阪伝道キャンプ 11月20日～22日 6、長老任職式 11月23日 7、教会設立感謝礼拝(勸士、按手執事任職式)-12月10日	
	<b>福音宣教教会</b> 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝 7:00 / 2部礼拝 10:00 / 3部礼拝 12:00	